

# 交付運用報告書



## 受益者のみなさまへ

平素は「明治安田外国債券オープン（毎月分配型）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、下記の運用方針に基づき信託財産の運用を行い、第191期から第196期までの決算を行いました。ここに期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### ●運用方針

明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンドを通じて、日本を除く世界の債券に分散投資し、安定的なインカムゲイン（利息収益）の確保とともに信託財産の成長を目指します。

第196期末(2019年5月7日)	
基準価額	7,778円
純資産総額	10,371百万円
第191期～第196期 (2018年11月8日～2019年5月7日)	
騰落率	0.4%
分配金合計	210円

※騰落率は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 明治安田外国債券オープン(毎月分配型) 《愛称》夢実現(毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

第191期(決算日2018年12月7日)	第194期(決算日2019年 3月7日)
第192期(決算日2019年 1月7日)	第195期(決算日2019年 4月8日)
第193期(決算日2019年 2月7日)	第196期(決算日2019年 5月7日)
作成対象期間 (2018年11月8日～2019年5月7日)	

### ●明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都港区虎ノ門三丁目4番7号

<http://www.myam.co.jp/>

<運用報告書のお問い合わせ先>

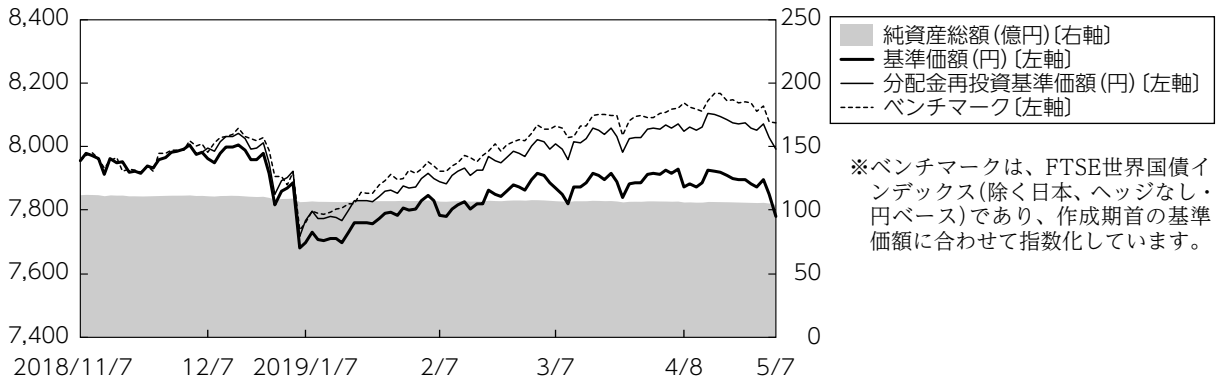
サポートデスク 0120-565787

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法により交付できる旨定めています。運用報告書(全体版)は、上記の委託会社のホームページのホーム画面から、投資信託商品一覧を選択し、当ファンドの運用報告書(全体版)を選択することにより、閲覧およびダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)を書面でご要望の場合は、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

## 運用経過の説明

### ■ 基準価額等の推移



第191期首(2018年11月7日)：7,954円  
 第196期末(2019年 5月7日)：7,778円(既払分配金210円)  
 騰落率：0.4%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて日本を除く世界の債券に分散投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

#### (上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・主要国の長期金利低下を受けて、保有する債券の価格が上昇したこと

#### (下落要因)

- ・12月の世界的な株価急落を受けた投資家のリスク回避の動きから、組み入れている主要通貨が円に対して下落したこと

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第191期～第196期 (2018年11月8日～2019年5月7日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a)信託報酬	49 円	
(投信会社)	(21)	(0.262)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(26)	(0.327)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b)その他費用	1	0.014	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	50	0.630	

(注1)作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

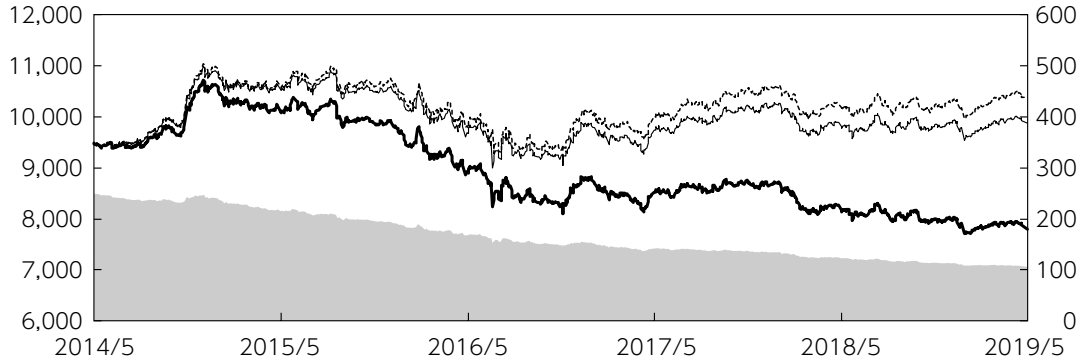
(注2)消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■最近5年間の基準価額等の推移

(2014年5月7日～2019年5月7日)



■ 純資産総額(億円)(右軸) — 基準価額(円)(左軸) — 分配金再投資基準価額(円)(左軸) ---- ベンチマーク(左軸)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、5年前の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年5月7日 期初	2015年5月7日 決算日	2016年5月9日 決算日	2017年5月8日 決算日	2018年5月7日 決算日	2019年5月7日 決算日
基準価額 (円)	9,450	10,072	8,872	8,494	8,137	7,778
期間分配金合計(税込み) (円)	—	420	420	420	420	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.2	△8.0	0.6	0.7	0.8
FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)騰落率 (%)	—	11.8	△7.7	2.5	1.6	2.1
純資産総額 (百万円)	24,778	21,336	16,548	13,958	12,054	10,371

※FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、当ファンドのベンチマークです。

※各決算日は、表中の最後の決算日から起算して過去1年毎の決算日を表示しています。期間分配金合計は年間の分配金累計額、騰落率は年間の騰落率です。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

※純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

ベンチマークの詳細は後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

## ■投資環境

### 外国債券

当作成期の米国債券市場で長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。作成期首から2019年1月上旬にかけて、2019年の利上げペースが鈍化するとの観測から低下し、その後、F R B（米連邦準備制度理事会）が緩和方向への金融政策の転換を示唆すると、3月下旬にかけて低下幅を拡大しました。4月に入ると、中国景気の回復期待などから上昇基調となりましたが、戻りは限られました。

当作成期の欧州債券市場（ドイツ）で長期金利は低下しました。作成期首から2019年3月下旬にかけて、相次ぐ市場予想を下回る経済指標を受けた欧州景気の減速懸念や、米国長期金利の低下などを背景に低下基調となりました。4月に入ると、中国景気の回復期待などから上昇基調となりましたが、戻りは限られました。

### 外国為替

当作成期の米ドルは円に対して下落しました。作成期首から2019年1月上旬にかけて、世界的な株式相場の急落を受けた投資家の安全通貨とされる円を買う動きの強まりを背景に下落しました。その後、作成期末にかけては株式相場の上昇に連動して上昇基調となりましたが、戻りは限られました。

当作成期のユーロは円に対して下落しました。作成期首から2019年1月上旬にかけて、世界的な株式相場の急落を受けた投資家の安全通貨とされる円を買う動きの強まりを背景に下落しました。その後、作成期末にかけては株式相場の上昇という強気材料があった一方で、相次ぐ市場予想を下回る経済指標を受けた欧州景気の減速懸念や、E U（欧州連合）と英国の離脱交渉の難航などの弱気材料もあり、レンジ内での推移となりました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

### 明治安田外国債券オープン(毎月分配型)

作成期首の運用方針に基づき、期を通じて明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンドへの投資比率を高位に維持しました。

### 明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、ファンダメンタルズ分析を重視し、各国の政治、経済動向の変化や市況動向、リスク分散等を勘案して通貨別配分、デュレーション調整を行いました。また、追加設定および解約による資金の流出入に対して債券の売買を行い、期を通じて高位の債券の組入比率を維持しました。

通貨別配分は、ベンチマーク構成比に対して収益率が高まると判断した通貨をオーバーウェイトし、劣後すると判断した通貨をアンダーウェイトしました。

デュレーションは、金利見通しに基づき市場動向を勘案しながら、ベンチマークに対して金利低下を予想した場合には長期化を実施し、金利上昇を予想した場合には短期化を行いました。

【通貨別配分】

	通貨	配分
作成期首	米ドル スウェーデンクローナ ノルウェークローネ	オーバーウエイト
	ユーロ カナダドル	アンダーウエイト
作成期末	米ドル ノルウェークローネ	オーバーウエイト
	ユーロ オーストラリアドル カナダドル シンガポールドル デンマーククローネ	アンダーウエイト

【デュレーション】

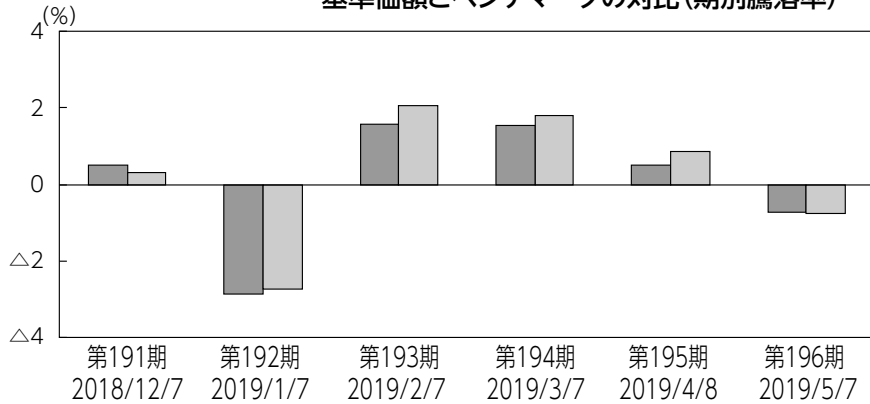
作成期首	作成期末
ほぼ中立	長期化

【債券特性】

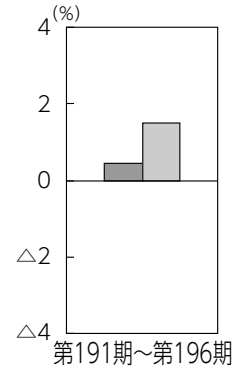
	作成期首	作成期末
デュレーション(年)	7.1	7.6
残存年数(年)	8.8	8.9
複利最終利回り(%)	2.2	1.8

■当該投資信託のベンチマークとの差異

基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



※ファンドの騰落率は分配金込み



※ファンドの騰落率は分配金再投資

■ 基準価額 ■ FTSE 世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

当作成期の基準価額の騰落率(分配金再投資ベース)は+0.4%となりました。一方、ベンチマークの騰落率は+1.5%となり、騰落率の差異は△1.1%となりました。この差異に関する主な要因は以下の通りです。

(プラス要因)

- ・オーストラリアで国債よりもパフォーマンスの良かった政府機関債を組み入れていたこと

(マイナス要因)

- ・円に対して相対的にパフォーマンスの悪かったノルウェークローネをベンチマークの組入比率に対してオーバーウェイトしたこと
- ・信託報酬等ファンド運用上の諸費用を計上したこと

## ■分配金

当作成期の収益分配金は基準価額の水準等を勘案し次表の通りとさせていただきます。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期
	2018年11月8日 ~2018年12月7日	2018年12月8日 ~2019年1月7日	2019年1月8日 ~2019年2月7日	2019年2月8日 ~2019年3月7日	2019年3月8日 ~2019年4月8日	2019年4月9日 ~2019年5月7日
当期分配金	35	35	35	35	35	35
(対基準価額比率)	0.438	0.453	0.448	0.443	0.443	0.448
当期の収益	15	9	16	15	15	8
当期の収益以外	19	25	18	19	19	26
翌期繰越分配対象額	892	866	848	828	808	782

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 明治安田外国債券オープン(毎月分配型)

引き続き、明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンドへの投資比率を高位に維持する方針です。

### 明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド

引き続き、通貨別配分は各国の財政・金融政策の格差を注視し、デュレーションについては各国の景気動向、金融政策を注視し、適宜調整します。



**お知らせ**

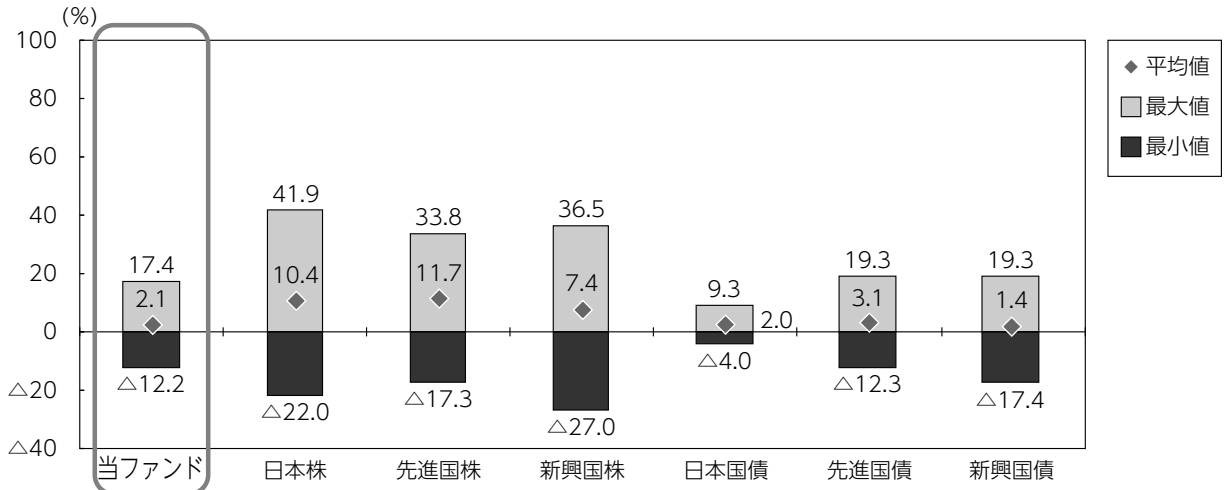
該当事項はございません。

**当該投資信託の概要**

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	日本を除く世界の債券に分散投資し、安定的なインカムゲイン(利息収益)の確保とともに信託財産の成長を目指します。	
主要投資対象	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)	明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンドを通じて、世界各国(日本を除く)の公社債へ分散投資します。
	明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド	世界各国(日本を除く)の国債、国際機関債、社債等を主要投資対象とします。
運用方法	FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとしてこれを中長期的に上回る投資成果を目指します。	
分配方針	毎月7日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配対象額の範囲は利子・配当収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とし、基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入を中心に分配します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

対象期間：2014年5月～2019年4月



※上記グラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、対象期間5年間の各月末における直近1年間の騰落率データ(60個)を用いて、平均、最大、最小を表示したものです。

※ファンドの年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額(分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算)をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。また、決算日を基準日とした年間騰落率とは異なります。

※全ての資産クラスが、当ファンドの投資対象とは限りません。

※各資産クラスの指数について

資産クラス	指数名称	権利者
日本株	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCI-KOKUSAI(配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注)海外指数は、対円で為替ヘッジなしによる投資を想定して、各月末の指数値を円換算または円ベースとしています。

※各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、上記に記載の各権利者に帰属します。

また、各権利者は当ファンドの運用成果等に関し一切責任を負いません。

各指数の詳細は後掲の<代表的な資産クラスの指数について>をご参照ください。

## 当該投資信託のデータ

### ■ 当該投資信託の組入資産の内容

#### ○ 組入(上位)ファンド(銘柄)

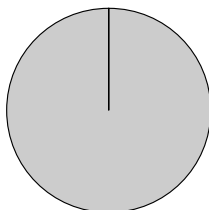
組入ファンド数：1

	第196期末
	2019年5月7日
明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド	99.6%
その他	0.4%

※組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

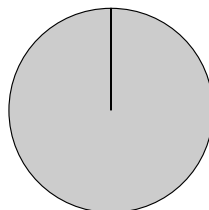
※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

#### ○ 資産別配分



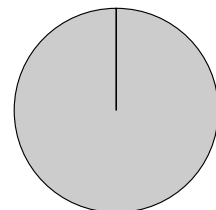
親投資信託受益証券  
100.0%

#### ○ 国別配分



日本  
100.0%

#### ○ 通貨別配分



日本円  
100.0%

※当作成期末におけるポートフォリオ評価額に対する比率

### ■ 純資産等

項目	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末	第196期末
	2018年12月7日	2019年1月7日	2019年2月7日	2019年3月7日	2019年4月8日	2019年5月7日
純資産総額	11,046,626,626円	10,600,364,102円	10,622,018,443円	10,655,796,147円	10,553,485,598円	10,371,498,056円
受益権総口数	13,877,359,192口	13,775,102,595口	13,651,135,040口	13,545,292,190口	13,408,503,053口	13,334,839,599口
1万口当たり基準価額	7,960円	7,695円	7,781円	7,867円	7,871円	7,778円

※当作成期間(第191期～第196期)中における追加設定元本額は68,438,254円、同解約元本額は728,967,702円です。

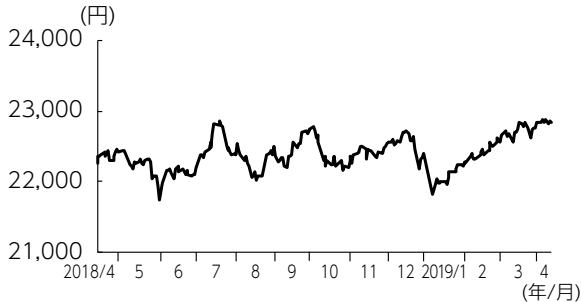
■組入上位ファンド(銘柄)の概要

明治安田外国債券ポートフォリオ・マザーファンド

決算期：第18期

計算期間：2018年4月11日～2019年4月10日

○当期の基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
平均基準価額	22,400円	
(a)その他費用 (保管費用)	6円 (5)	0.025% (0.023)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	6	0.025

※上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。  
 ※各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 ※各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第3位未満は四捨五入してあります。

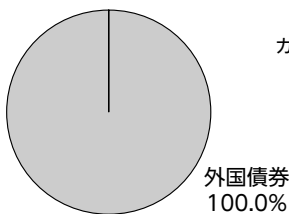
○外国債券上位銘柄

組入銘柄数：54

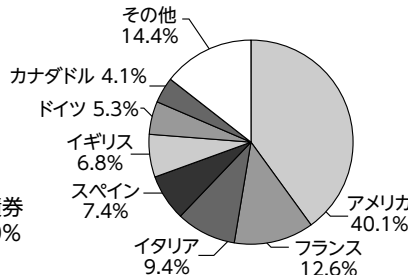
	銘柄名	債券種類	通貨	組入比率(%)
1	US TREASURY N/B 1.875% 20/6/30	国債	米ドル	6.6
2	US TREASURY N/B 2.875% 28/8/15	国債	米ドル	6.0
3	US TREASURY N/B 2.375% 22/3/15	国債	米ドル	5.6
4	US TREASURY N/B 3.75% 43/11/15	国債	米ドル	5.6
5	FRANCE O.A.T. 3% 22/4/25	国債	ユーロ	5.3
6	US TREASURY N/B 2.25% 27/8/15	国債	米ドル	4.0
7	BTPS 4.5% 24/3/1	国債	ユーロ	3.8
8	BTPS 5% 40/9/1	国債	ユーロ	3.6
9	US TREASURY N/B 4.75% 41/2/15	国債	米ドル	3.2
10	ASIAN DEV BANK 1% 19/8/16	特殊債	米ドル	3.1

※組入比率は当期末における純資産総額に対する評価額の割合です。  
 ※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

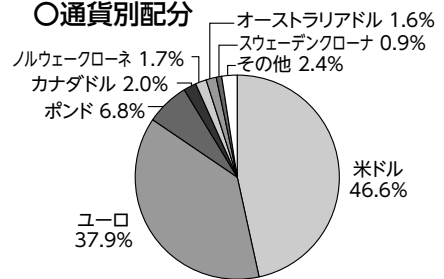
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



※当期末におけるポートフォリオ評価額に対する比率

(注)当マザーファンドの計算期間における運用経過等の説明は運用報告書(全体版)をご参照下さい。

## <当ファンドのベンチマークについて>

### FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## <代表的な資産クラスの指数について>

**東証株価指数 (TOPIX)** は、東京証券取引所 市場第一部 (以下、東証市場第一部ということがあります。) の時価総額の動きをあらゆる株価指数であり、株式会社東京証券取引所 (以下「東京証券取引所」といいます。) が算出、公表を行っています。東証市場第一部に上場しているすべての銘柄を計算の対象としていますので、日本の株式市場のほぼ全体の資産価値の動きを表しています。

東証株価指数 (TOPIX) は東京証券取引所の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関する全ての権利および TOPIX の商標に関する全ての権利は東京証券取引所が有します。東京証券取引所は TOPIX の指数値の算出若しくは公表の方法の変更、TOPIX の指数値の算出若しくは公表の停止または TOPIX の商標の変更若しくは使用の停止を行うことができます。東京証券取引所は TOPIX の商標の使用若しくは TOPIX の指数の利用に関して得られる結果について何ら保証、言及をするものではありません。

**MSCI-KOKUSAI** は、MSCI Inc. が算出する日本を除く世界主要国の株式市場を捉える指数として広く認知されているものであり、MSCI-KOKUSAI 指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。MSCI Inc. は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

**MSCI エマージング・マーケット・インデックス** は、MSCI Inc. が算出する新興国の株価の動きを表す代表的な指数であり、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。MSCI Inc. は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

**NOMURA-BPI (国債)** は、日本国債の市場全体の動向を表す、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

**FTSE世界国債インデックス** は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLC は、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利は FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

**J P モルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド)** は、J.P.Morgan Securities LLC (J P モルガン) が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

 明治安田アセットマネジメント株式会社